

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL：0566-75-8866
 FAX：0566-74-5678
 Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP：http://www.anjo-rc.org

第2887回例会

2016年10月14日(金) 12:30～13:30

司会者奥田 法行君

ソング：「手に手つないで」「四つのテスト」

卓上花：カラー・バラの実

ニコボックス委員会：海野 広明君

雑誌委員会：岩井 春次君



2016-2017年度RIテーマ：

「人類に奉仕するロータリー」

安城ロータリークラブ会長方針：

「地域社会に貢献し笑顔を共有しよう ～Let's smile together～」

■会長：富岡 里美

■幹事：戸谷 央

■クラブ会報：中村浩一・稲垣淳・磯谷廣治・山口佳久

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

■ 幹事報告

戸谷 央幹事

- 10/21、ガバナー公式訪問時の碧信駐車場は三河安城RCメンバーを優先に使用していただきたいと思っておりますので、ご協力宜しくお願い致します。
- 10/28職場例会の出欠報告をお願いします。

■ 出席報告

杉本 汎平君

会員	56名
出席義務者	42名
出席	34名
欠席	16名
出席免除者の出席	8名
出席率	61.90%
修正出席率	9月30日 第2885例会 80.76%

■ 今月のお祝い

会員誕生日 5名
 婦人誕生日 3名
 還暦 1名
 結婚記念日 5名



◆ 卓話

担当：中村 浩一君

テーマ「金融犯罪について」

皆さんこんにちは。本日卓話を担当させていただきます大垣共立銀行安城支店の中村です。先日のイニシエーションスピーチでもお話しさせていただきましたが、ロータリークラブの皆様のおかげで、安城支店は来月開店50周年を迎えることとなりました。

のちほどDVDをご覧くださいますが当行も120周年を迎えることができました。

私はあとどれだけ当クラブに在籍できるかわかりませんが、当行の支店長は引続き在籍させていただき、ロータリークラブの活動に貢献させていただきたいと思っています。

それでは、初めに、オレオレ詐欺、還付金詐欺などの特殊詐欺について皆様にお話しさせていただきたいと思っております。

1. 特殊詐欺の現状

愛知県警管轄での7月までの被害件数は別紙の通りです。御覧いただくとわかるように、愛知県内だけでも振り込め詐欺は627件の21億円と昨年を上回るペースで増加しております。また今年に入り還付金詐欺が昨年同期比268%被害総額も2億8千万円と急増しております。

後ほど事例でも紹介させていただきますが、還付金詐欺の多くは、電話を受けてから数時間のうちに誰にも相談することなく被害に遭ってしまう事例が多く、また役所を騙って電話をし、被害者から利用している金融機関を聞き出した後、その金融機関を騙って電話をし、被害者をATMに誘導します。誘導するのはスーパーや無人ATMがほとんどだそうです。

ここに8月の数字がありますが、最終週は34件と全く減る様子はありません。

2. 被害事例

ここで被害事例を紹介します。別紙を御覧ください。

3. 阻止事例

ここで被害事例を紹介します。別紙を御覧ください。
ちなみに御覧いただいた事例はすべて8月に愛知県警管内で起きたものです。

4. なぜ詐欺グループに騙されるのか？

皆様も新聞やニュースで特殊詐欺の被害についてよく耳にするかと思いますが、正直「なぜ騙されるのかわからない」という方も多いのではないのでしょうか。

しかし、特殊詐欺の被害にあわれた方たちは普通の人と比べて不用心だったり、騙されやすかったりという事ではありません。

警察がオレオレ詐欺などの被害者に行った調査で、実に5人に4人が「自分はだまされない、大丈夫だと思っていた」と答えています。(2015年1月NHK)

では、しっかりとした判断力を持つ人たちがなぜ騙されてしまうのでしょうか。その理由の一つは、犯人によって「冷静な判断ができない精神状態にさせられる」からです。皆さんはどんな電話が掛かってきたら冷静でいられなくなりますか？

警察を名乗る人物からご家族が事故にあった、との電話が来ても「これは詐欺かもしれない」と冷静に判断できるでしょうか。詐欺グループはこういった心理を巧みにつけてきます。ですので、冷静にいるときの判断力はあまりあてになりません。自分は大丈夫と安易に考えないようにしていただきたいと思います。

また、還付金詐欺についてですが、電話では3万円程度の還付金を受取れるという話をしてくれます。しかし、結果として被害者は詐欺グループに百万円を超えるような振込みをしてしまっています。

このような事が起こる理由として、

一つ目、犯人は還付金を受取る期限が迫っているといって被害者を慌てさせ、冷静さを失わせます。

二つ目、犯人はATMに誘導した被害者に対して、次々と指示を出し、混乱させます。

三つ目、振込み金額を入力する画面で、犯人は「取扱番号を入力して下さい」などと言って振込みする金額だとわからないよう金額を入力させます。(はじめに残高照会をさせて、残高を読み上げさせている)

一般的に言われてる振り込み詐欺とは違いますが、相手の冷静さを失わせて騙す手口は共通しており、誰でも騙され

5. 詐欺グループの話法について

続いて、詐欺グループからの電話内容についてお話したいと思います。

皆さん、詐欺グループからどんな口調で電話が掛かってくると思いますか？「いかにも怪しい雰囲気」の電話を想像していないのでしょうか？最近の特殊詐欺の手口は「劇場型」と呼ばれています。「息子役」が涙声で状況を説明し、「被害者役」が電話口で怒鳴った後、「弁護士役」が優しい口調で自分がすべて解決するが、お金が必要だというような話をしてくる手口もあります。嗚咽を上げながら涙声で話す犯人の声を「息子ではない」とはっきりと判断できますでしょうか？息子さんが泣きながら話す声など何十年も聞いてないのではないのでしょうか。「ひょっとしたら息子かも知れない」と思い、不安になって「弁護士役」の言うとおりにしてしまいます人が多いのも納得できるのではないかと思います。

いくつかの特殊詐欺の話法で注目したいのは、例えば「小切手500万円落としたから500万円用意してほしい」というような内容ではなく、「1000万の小切手を落とし、上司が700万円用意してくれる。残り300万円をうちで準備できないか」という内容である点です。こういった内容にすることで、被害者の方は「誰かが息子を助けてくれている。自分も協力しなければ」という気持ちにさせられるのです。

また、落とした小切手も「まだ見つからない」という内容ではなく、「既に見つかっているが取引に間に合わない」というように話してきます。これにより、被害者の方は「一時的に立て替えるだけ」だと思い、お金を払ってしまうのです。

6. 偽造・盗難キャッシュカードにかかる被害補償

7. インターネットバンキングにかかる被害補償

8. 最後に

最後になります。銀行ではお客様のお金を守るため、高額のお支払い、振込み時の情報収集に努めています。詐欺が疑われる場合、第三者に話を聞いてもらうのは非常に重要です。自分は「詐欺ではない」と思っている、第三者が話を聞けば「詐欺」と判断できるかもしれません。

最近では詐欺グループが被害者に対し、金融機関を騙すよう指導するケースが増えています。「銀行にはリフォーム資金と言ってほしい」「墓地を買うと言ってほしい」などです。被害者の方も、金融機関に怪しまれないよう必死になって演技をします。ただ、ここで考えていただきたいのですが、金融機関の窓口で嘘をつかなければいけないような状況であれば、詐欺の可能性が高いのではないのでしょうか。

私たちはお客様のご預金をお渡ししないと言っているわけではありません。お客様のご預金をお守りするために詐欺かどうかを知りたいのです。

ロータリアンの皆様は大丈夫だと思いますが、必ず、金融機関窓口では本当のことを話してください。特殊詐欺を防止する最後の砦は金融機関の窓口です。

以上で金融犯罪についての卓話を終わります。
ご清聴ありがとうございました。